

マイナンバーカードの利用シーンの拡大

健康保険証としての利用

- マイナンバーカードを**健康保険証**として利用できるオンライン資格確認の運用開始(R3.10~本格運用)
- カードリーダーにかざせばスムーズに医療保険の資格確認ができるほか、高額療養費の限度額認定証などの書類の持参が不要に
- 医療機関等で本人同意の下、**特定健診情報**や**薬剤情報**の閲覧等も可能に(R3.10~)

マイナポイント第2弾

- ①マイナンバーカード取得
 - ②カードの健康保険証利用申込
 - ③公金受取口座登録
- をすると、**最大2万円相当**のキャッシュレス決済サービスのポイントを付与
- ※①は第1弾(~R3.12.31)より切れ目無く、R4.1.1から申込付与開始(②③はR4.6.30開始)

コンビニ交付サービス

- コンビニで住民票の写しや戸籍証明書など**各種証明書が取得可能**(R4.2.15対象人口:10,997万人)

民間サービスにおけるオンラインでの本人確認

- 各種オンライン決済サービスにおける口座登録、証券口座開設、住宅ローン契約等の際、マイナンバーカードを利用することで、**確実・簡便な本人確認が可能に**
- カードを利用した民間サービスの提供事業者は3年間で約5倍になるなど、着実に普及(R4.7.18現在、**民間事業者160社**がサービスを提供)

マイナポータル

- 子育て関連手続の**申請等**をワンストップでできるサービスを提供
- 行政機関などが保有する**自分の情報(世帯情報・税・社会保障等)の確認**が可能

職員証・社員証としての利用

- **国家公務員**(H28.4)、徳島県庁(H29.6)で導入
- 民間企業の**社員証**としての利用(TKC、NEC、NTTcom、内田洋行、NTTデータが活用)

マイナンバーカードを活用した各種カード等のデジタル化等

- マイナンバーカードの電子証明書等を資格等の情報に紐づけることにより、マイナンバーカードを各種カード等として利用
⇒ デジタル社会の実現に向けた重点計画(R4.6.7閣議決定)に基づく「マイナンバーカードを活用した各種カード等のデジタル化等に向けた工程表」に沿って推進
- **運転免許証**(~R7.3までに実現)その他の国家資格証、**お薬手帳**、**介護保険被保険者証**、**障害者手帳**、**母子健康手帳**、**ハローワークカード**、**在留カード**等
- マイナンバーカードを利用して新型コロナワクチンの接種証明書(電子版)が取得可能に
- マイナンバーカードの機能(電子証明書)を**スマートフォンに搭載**(Androidスマホへの搭載、R5.5.11開始予定。)

利活用シーンが拡大し、マイナンバーカード1枚で様々なことが可能な社会に

マイナポータル概要

○ マイナポータルは、「マイナンバーカードをキーとした、わたしの暮らしと行政との入口」として、オンライン申請や、行政機関等が保有する自分の情報の閲覧・取得、お知らせの通知などのサービスを提供しています。

ぴったりサービス

子育てをはじめとする
オンライン申請ができます
※サービスの検索や一部の申請
についてはマイナンバーカード
がなくてもできます

お知らせ

行政機関等から児童手当現
況届や確定申告などのあなた
に合ったお知らせが届き
ます

もっとつながる

(外部サイト連携)
・e-Tax
・ねんきんネット
などにつながります



わたしの情報

・税情報（所得等）
・世帯情報
・予防接種の履歴
などが確認できます

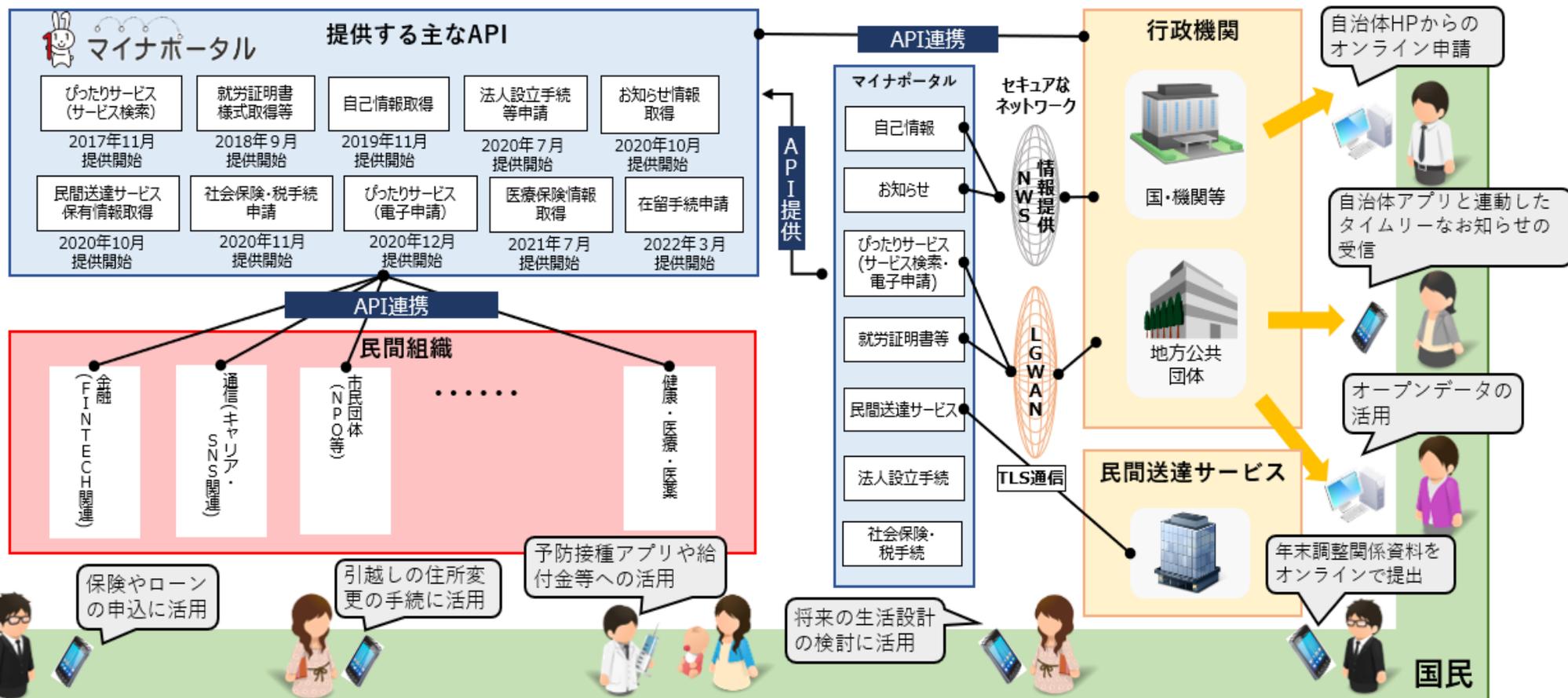


やりとり履歴の確認

あなたの情報が行政機関で
どのようにやりとりされた
かチェックできます

マイナポータルでのAPIで実現されるサービス

- マイナポータルで提供する機能を、行政機関だけではなく企業や市民団体等の民間組織に対してもAPIとして提供することで、自己情報や検索機能を活用した新たな行政サービス・民間サービスの開発につながることを期待されます。
 ※APIとは、アプリケーション・プログラミング・インターフェースの略。マイナポータルのAPIの提供は、外部のWEBサービスのシステムからマイナポータルにアクセスしてその機能を活用できるように必要な仕様等を作成し、一定の要件の下で公開するもの。



マイナポータル利便性向上に向けた取組について

○ マイナポータルサービス本格運用（自己情報閲覧・子育てを中心としたオンライン申請）（平成29年11月）

この後、介護手続のオンライン申請、被災者支援関連手続のオンライン申請について自治体対応の働きかけを実施

これまで実現した主な機能等

- マイナポータルのデザインリニューアル（令和3年6月）
- 薬剤情報・特定健診情報の閲覧機能（令和3年10月）
- 医療費情報の閲覧機能（令和3年11月）
- 確定申告におけるふるさと納税の控除証明書の連携機能（令和4年1月）
- 国民年金の加入、保険料納付免除、学生納付特例猶予の申請機能（令和4年5月）
- 診療情報の閲覧機能（令和4年9月）
- 年末調整における国民年金保険料の控除証明書の連携機能（令和4年10月）

当面実現予定の主な機能

- 確定申告における公的年金等源泉徴収票の連携機能（令和5年1月）
- 電子処方箋情報の閲覧機能（令和5年1月）
- 引越しワンストップサービス（令和5年2月）
- 旅券（パスポート）のオンライン申請機能（令和5年3月）
- マイナポータルのデザインを一新したバージョンのリリース（令和4年度中）

自治体に対応することが前提となるが、マイナンバーカードのスマートフォン搭載（実現に向けて事業者と調整中）により、子育て、介護を中心に、スマートフォンで完結するオンライン市役所の役割を実現